

土木学会論文集B3（海洋開発）特集号 論文審査要領

1. 審査の目的
審査は、土木学会論文集B3（海洋開発）特集号に登載を希望する論文の工学上の有用性、信頼度、新規性、速報性などの点について客観的に評価し、登載される論文として適切であるかどうかの判定を行うことを目的とする。
2. 投稿論文の範囲
投稿論文の内容は、「海洋の開発・保全に関する技術情報」および「海洋の開発・保全に関連する技術情報」の範囲とし、海洋における政策・事業・総合的管理、海洋施設の計画・設計、海洋施設の施工・維持管理、海洋の調査・技術開発、海洋環境の保全・再生、海洋の利用、海洋における防災などを対象とする。
3. 審査の方法と登載の決定
査読小委員会により、2段階査読（第1次・第2次）を実施して、登載を決定する。
第1次審査：応募された論文要旨に対して、1編につき3名の査読委員によって査読を行う。その結果に基づき、幹事会において登載候補論文を決定する。この論文要旨は、1) 研究の目的、2) 研究の内容、3) 主要な結論を項目別に、図表も含めてA4版2枚以内に記述する。
第2次審査：登載候補論文について、論文原稿（Full paper）の提出を依頼する。提出された論文原稿に対して、第1次審査と同様に1編につき3名の査読委員によって査読を行う。その結果に基づき、幹事会において登載論文を決定する。なお、第2次審査後に、著者に対して内容等の修正を求めることがある。

[illegible]

平成27年5月1日現在

小委員長 副委員長 委員	平成26年度	海洋開発委員会	論文査読委員会	委員構成	(五十音順)
下迫健一郎	小田健一郎	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	明吾一伸司光尚昌雄士秀博太明一雄男宗
木川江塚山野江明木野橋中江野谷田上上田	田川江塚山野江明木野橋中江野谷田上上田	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	正雄淳幸浩正智孝義泰彰和浩典隆信和裕
青石入大片北桑五柴清高田東中長本三村櫛	小田健一郎	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	野津塚田崎岩林松訪木田ヶ瀬本原上上木
	池今大織川黒小重誼高多鶴中橋藤三村横	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	剛光司三二昭男志一光満孝大郎樹史実道
	國宏竜浩善昭真浩利芳 壮一直昌秀吉	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	光内野崎口山林々見木島田條隆井山田本
	有井宇尾川栗小佐鷺高田土中西藤松陸山	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	歩聡子夫朗宏夫淳之健聡三之弘也朗誠司憲
	進 恵章太隆康木崇 剛康孝克 泰靖	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	木垣勲安上谷竹々木木若本川田山本武本部
	荒稲有岡川熊小佐鈴高武辻中西平松宮山渡	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	之朗一也泰一一児朗文英清毅介史也宏宏男
	敏敏賢知弘真俊健二雅将 恵忠達昌誠治	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	野藤崎田合保村木戸田尾山比田川田山
	浅伊鶴岡河久越笹鈴瀬武辻長中日松宮安米	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	満教彦巧剛理幸明悟浩文崇彦昭稔肇美二望
	定一一 治雅 恒博 紀友 法栄	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	田藤野山澤宮島庭石本口田井村沢瀬谷内山
	明伊上大金清小桜白関田玉永中半間水矢米	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳
	義尊光 克幸武 克合 陽孝裕 袈詩豊陽明	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	山宮波中藤村
	秋泉岩大加木鯉齋島関高田富中羽前三森吉	山宮波中藤村	義尊光	信司保晋茂俊生久学己子二史幸義朗秋一徳	山宮波中藤村